

VOL.163

農協からのお便り

10 Green 2021

グリーン
地域と農業をむすぶJA広報誌

今月の表紙

もち米の収穫作業が始まる…



Topics

- ・ 水稻青空教室を実施
- ・ 上川小学校 稲刈り体験
- ・ 3年米が出荷スタート！
他

菊水地区
野地 道博さん

各作物の生育状況や今後の注意を… 畑園・もち米合同作況視察

8/27
上川地区



上川町畑作園芸振興会・上川町もち米生産団地組合合同の町内作況視察が、19名の参加で開催されました。

当日は、東雲地区のもち米、菊水地区のミニトマト、大豆、そば、大根選果場などを視察し上川農業改良普及センター桂川専門主任及び井村専門普及指導員から、各作物の生育状況や今後の注意点などを説明いただきました。

また、ホクレン旭川支所生産資材課より、そばの肥料（苦土炭カル入り）の説明を頂き、参加された生産者は熱心に耳を傾けていました。

事故やケガのない出来秋を願って役員作況視察を実施! 役員町内作柄調査

8/31
両地区



役員による作況視察を、両地区で実施しました。

この日はあいにくの天候でしたが、上川地区の大根圃場・大根選果施設・もち米圃場、愛別地区のうるち米・もち米・飼料用米、及び国営緊急農地再編整備事業の工事進捗状況などを視察しました。

今年は、夏場の高温・干ばつによる生育不良が懸念され、一部の作物で影響はあるものの、概ね順調な生育であり、役員員みな胸をなでおろしている状況です。

9月中旬ごろから稲の刈取りが始まりますが、それぞれの作業で事故やケガに留意して農作業にあたっていただきたいと思います。

収穫時の留意点や適期の判断を… 水稻青空教室を実施

9/2
上川地区

東雲地区の丸山粉乾施設で収穫前の水稻青空教室を25名の参加で開催しました。

今回の青空教室では例年とは異なり、生産者の方々に試し刈りをしたサンプルを持ち寄っていただき、実際にその場で脱穀し、講師の上川農業改良普及センターの桂川専門主任・小柴主査・水尾指導員に収穫適期を指導していただく形で行いました。

そのため、参加された生産者の方々は様々な圃場のサンプルを見比べていました。

その後、普及センターの講師の方々から、収穫適期の判断、収穫時の留意点、乾燥についての注意など指導がありました。

生産者の方々は熱心に耳を傾け真剣に取り組まれておりました。



今年も美味しいお米ができました…

3年産米が出荷スタート!!

9/6・9/15

両地区



3年産米の収穫が始まり、愛別地区では9月6日に小山昌彦さん（金富地区）、上川地区は9月15日に福島純次さん（越路地区）の初出荷がありました。7月に快晴が続いて雨があまり降らず、干ばつなど出来秋に向け心配もありましたが、無事に豊穡の秋を迎えることが出来ました。

今年もタンパクは低い傾向にあり、美味しいお米が出来ました。

農繁期は、農作業事故も発生しやすくなりますので、安全確認を十分に行い、無事に収穫作業を終えることを願います。

楽しそうな笑顔で稲刈りを…

上川小学校 稲刈り体験

9/8

上川地区



上川小学校の5年生が辰巳眞さん（菊水地区）の圃場で稲刈り体験を行いました。

子供たちは「春の田植え」・「夏の畦草刈」・そして今回「秋の稲刈り体験」と三回目の農業体験となります。

当日は辰巳さんから説明や注意事項を聞いて、圃場での稲刈りを笑顔で楽しんでいました。

今年は、残念ながらコンバインの乗車体験は出来ませんでした。代わりにお米の乾燥機や検査などについての特別授業が行われました。

次回は、「冬の餅つき」体験を予定しています。昨年はコロナ感染防止のため中止となりましたが、子供たちが育てた「もち米」が美味しいお餅になることを楽しみにしています。

生活を支えてくれている、命の大切さを再認識…

畜産振興会 畜魂祭

9/10

上川地区



上川町菊水地区の旧育苗センター敷地内畜魂碑前において、畜産振興会畜魂祭がおこなわれ行われました。

来賓の大村組合長をはじめ上川・愛別両地区の酪農や畜産業に携わる方々が多く参列されました。

今年も新型コロナウイルスの終息のめどがたらず、未だ様々な影響を受けている中で、日々の生活を支えてくれた家畜に感謝するとともに御霊を慰め、命の大切さを再認識するため、畜魂供養を執り行いました。

投資家のためのデジタル農業は、誤っている

絵空事ではないデジタル農業

農家が追い出され、ドローンが飛び交い、センサーが張り巡らされ、自動化されたデジタル農業。「種から消費まで」の利益が最適計算され、巨大投資家が利益を貪るような世界は、じつは絵空事ではなく、かなり現実味を帯びてきている。「みどりの食料システム戦略」が、農林水産省の意図を超えて、その流れに組み込まれていくことを回避したい。

だれのためのデジタル農業か

「みどりの食料システム戦略」には、イノベーション、AI、スマート技術などの用語が並んでいる。「高齢化、人手不足だからAIで解決する」という方向性は、人がいなくな

って企業の経営がポツンと残り、コミュニティは崩壊し、「多様な農家が共存してコミュニティが持続できる姿」が見えてこないようにも思える。

こうした流れは、中小経営や半農半Xも含む多様な経営体が地域農業とコミュニティを支えることを再確認した2020年の「食料・農業・農村基本計画」と相反するように思われる。しかし、「みどり戦略」の策定には、新基本計画に多様な経営体の重要性を復活させたメンバーが中心になったことは確かだ。「大規模化のための技術でなく、篤農家でもだれでも農業ができる技術を普及すること、農業や有機農業の裾野を広げ、農村に人を呼び込めるようにしたい」という意図が表明されている。



すずき・のぶひろ

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。農業総合研究所研究交流科長、九州大学教授などを経て、2006年より現職。専門は農業経済学、国際貿易論。著書に『食の戦争～米国の罠に落ちる日本』（文春新書）、『ここが間違っている！日本の農業問題』（家の光協会）などがある。

バイオ企業やIT企業の新たなビジネス展開

一方で、バイオ企業などはスマート農業技術も含めて、農業生産工程全体をトータルに包含したビジネスを展開しつつある。現にモンサント（2018年にバイエルと合併）は化学肥料市場に遺伝子組み換え作物をセットにするビジネス展開で急成長し、さらに2013年に新たな戦略として、農業プラットフォームサービスのClimate Corporationを買収した。

中村祐介氏によれば、その戦略は自社を食料供給のソリューション提供企業へと変えることである。Climateを通じて、これまで同じ業界でも異なる業種であった農業

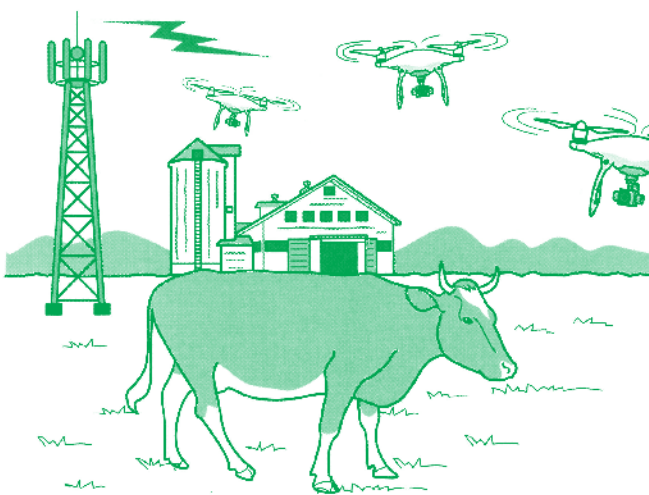
機器の製造・販売大手のAGCOとデータの相互接続をしたり、農機具メーカーのJohn Deereのオペレーションセンターと相互接続をしたりといった組み合わせが次々と起きていったのです。この組み合わせから、農地の肥沃度管理や区画ごとの収量分析、地域の気象データ確認などの作業を一つのプラットフォーム上でおこなうことができるデジタル農業技術ソリューションを提供しています。さまざまな人や国、企業がモンサント・Climateと相互接続し、価値を高めています。農民生産者はますますClimateを利用することになります。そしてClimate利用が促進されれば、そこに集まるデータを基にモンサントや他の企業はユーザーに満足度の高いサービスや製品を提供していきます。つまり、大きな円を描くエコシステムが生まれます。(注1)

また、印鑰智哉氏のブログによると、「モンサントが買収したClimateは、人工衛星で農地をリアルタイムでモニターして、使すべき農薬や化学肥料、種苗までを提案し、

農家はアプリからその情報を得ることができると宣伝しているとされる。

巨大投資家の利益のための農業はいらない

ここに、GAF A(注2)と総称されるIT大手企業なども加わって、最終的には農家は追い出され、ドローンやセンサーで管理・



制御されたデジタル農業で、種から消費までのうけを最大化するビジネスモデルが構築され、それに巨大投資家が投資する姿もみえてくる。

現に、2021年9月に開催予定の国連食料システムサミットは、ビル・ゲイツ氏が主導して、こうした農業を推進する一環として行われているとの見方もある。実際、ビル・ゲイツ氏は米国最大の農場所有者になり、マクドナルドの食材の多くをビル・ゲイツ氏の農場が供給しているとのニュースが米国で放送された(NBCニュース、2021年6月9日)。

「みどり戦略」が農水省の意図を超えて、ビル・ゲイツ氏らが描くような、農家がいなくなり、デジタル農業で投資家が利益を貪るような世界に組み込まれていくようなことがあってはならない。

注1：中村祐介
「デジタル革命(DX)が農業のビジネスモデルさえ変えていく」
2020年2月20日
<https://www.sajjp.com/blog/archives/28117>

注2：グーグル(Google)、アップル(Apple)、フェイスブック(Facebook)、アマゾン(Amazon)の頭文字をとった造語。

1日農業バイト あなたの地域でも 始めてみませんか？



1日バイトアプリ デイワーク
daywork

1日農業バイト デイワークとは？

1日農業バイトデイワークは生産者と求職者を1日単位で結びつけるサービスです。これまで農業界は数週間単位で連続した雇用が当たり前でした。しかし農繁期だけ手伝ってくれる方を見付けることは非常に難しいことです。

生産者がデイワークを利用するとその地域に住む方々が自分の休日を利用して手伝ってくれるようになります。本業を持っている方でさえも副業として農業を手伝ってくれるのです。お住まいの地域でも「副業」を農業界の新たなパワーとして歓迎しませんか？

これからの時代で大切なこと

これからの時代、農業で人を集めるには次の3つの要素が必要です。どれが欠けても大きな効果を出すことはできません。

① 1日単位のマッチング

今まで農業に参加できなかった方々が「副業」として農業に参加します。

② 仲介のない自動マッチング

JAや行政で導入・運用の手間がかかりません。

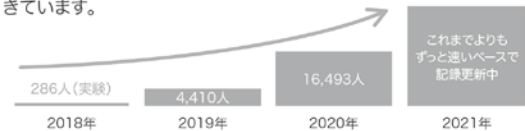
③ 中抜きがない

地方創生のため賃金は全て労働者のものとしなければなりません。



実証された大きな実績

複数のJA・行政と協力して取り組んで得た大きな実績があります。このシステムを日本中ですぐに使えることがJAグループの大きな強みとなります。現在、複数の県で効果があることが続々と実証されてきています。



この実績を元に2021年は既に全国で70以上のJAでの導入が決定、予定されています。

仕事を覚えないのでは？

「熟練した経験者を雇用したい」「通年雇用は無理だから一時期だけ来てほしい」生産者としてこう考えるのは当然のことです。しかし、少子高齢化、夫婦共働きが当たり前となった現代社会ではそのような理想的な方々を見付けることはできません。雇用側で考え方を変えなければなりません。

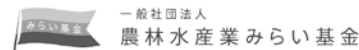


- 初心者や「育てる」ことが必要です。
- 複数の生産者で地域一帯となって1人の求職者を「育てる」システムです。
- 求職者が経験を積んだ履歴はアプリから全て見ることができます。
- 半年後、数年後は誰を雇っても経験者ばかりになっています。
- 将来のために今からこの取り組みを始めることが大切です。

今始めなければ数年後と同じ問題が未解決のままです。

どうして完全無料？

農業はビジネスと一言で片付けられるものではありません。食糧生産の重要さとありがたみを理解し、農業の問題は日本国民全員の問題であるとしてとらえています。農業の人手不足問題をどうすれば解決できるのか？を真剣に検討し取り組んだ結果「1日農業バイト デイワーク」が誕生しました。



現在、農林中央金庫がスポンサーである農林水産業みらい基金の支援により完全無料で運営されています。一次産業に従事される全ての方のためのサービスです。将来的に有料となる可能性がありますが、その際も「中抜き」は行わず農業経営に影響のない低価格の定額のサービスとして全ての生産者が気軽に利用できるサービスを想定しています。

当JAでも採用しています！
お問い合わせは 本所 営農振興課まで
TEL 6-5315



食と農を、
エネルギーでつなぐ。
Hokuren Service Station

2021 灯油トクトク

キャンペーン

9月1日(水)～11月30日(火)



初めての方もお得!

新規ご契約 キャンペーン



灯油配送<新規ご契約者のお客様>に
BOXティッシュ

60箱



プレゼント!

※プレゼント対象者は、定期配送ご契約者(200ℓ以上のホームタンク)のみで、半年以上の契約をされた方となります。
※お渡し期間は2022年1月～2月末となります。



ホクレンの灯油配達には
盗難補償付き!!

近年、灯油盗難が多発しています。
ホクレンSSでは、盗難1件につき5万円を上限として、灯油盗難被害相当を保証。



定期配送のススメ!
・灯油切れの心配なし!
・面倒なタンク残量の確認や電話でのご注文も
必要なし!

ご連絡頂かなくても定期的に配送に伺います。
万一、ご不在でも給油致しますのでご安心ください。

JA上川中央

ホクレン愛別給油所(TEL:6-5336)
ホクレン上川給油所(TEL:2-1459)
ホクレンSSスタッフまでお気軽にお問い合わせ下さい。



各種クレジット契約OK!





冬タイヤ早得フェア!!

タイヤのご購入をご検討されている方
店頭スタッフまでお申し出ください。

10月1日(木)~
11月30日(月)
まで

NEW **特価** にて御案内致します。

この時期に
ウォッシャー液も!!
275円 税込

軽トラック用
冬タイヤ

数量限定!!!

145R12 6PR 4本セット税込

22,000円~



※ 当店タイヤ価格には入替料・ホイールバランス料・廃タイヤ処分料が含まれております。

※ ご不明な点等がございましたら
店頭スタッフまでお問い合わせください。

ホクレン愛別SS, ホクレン上川SS
TEL 6-5336 TEL 2-1459



営業日・営業時間変更のお知らせ

		資材店舗(本所・支所) 農機センター	愛別SS	上川SS
10月	平日	8:30~17:30	8:00~18:00	8:00~19:00
	土曜	8:30~12:30		
	日曜	休業	8:30~17:30	
	祭日			
11月	平日	8:30~17:30	8:00~18:00	
	土曜	休業		
	日曜	休業	8:00~17:00	
	祭日			
12月	平日	8:30~17:30	8:00~18:00	
	土曜	休業		
	日曜	休業	8:00~17:00	
	祭日			
1月	平日	8:30~17:30	8:00~18:00	8:00 ~ 18:00
	土曜	休業		
	日曜	休業	8:00~17:00	
	祭日			
2月	平日	8:30~17:30	8:00~18:00	
	土曜	休業		
	日曜	休業	8:00~17:00	
	祭日			
3月	平日	8:30~17:30	8:00~18:00	
	土曜	8:30~12:30		
	日曜	休業	8:00~17:00	
	祭日			

【愛別・上川SS】 10月31日(日)は棚卸しのため17:00で閉店させていただきます。

【資材店舗(本所・支所)・農機センター】 11月1日(月)は棚卸しのため休業させていただきます。

組合員のうごき

(令和3年8月31日現在)
 正組合員戸数 318戸
 総組合員数 2,252名
 正組合員数 497名
 うち団体数 32団体
 准組合員数 1,755名
 うち団体数 60団体

- 1日 第2回中期監事監査(〜3日)
- 2日 上川町もち米団地 第3回青空教室
- 8日 上川小学校 稲刈り体験
- 10日 畜産振興会 畜魂祭
- 24日 企画会議
- 28日 第8回定例理事会

JAのあゆみ 9月

よろしくお祈りします



なす まさ がつ
 須 正 勝
 (9月1日付)

嘱託職員紹介

宮農部宮農販売課宮農販売係

手塚啓介

購買部愛別資材係

(9月30日付)

大変お世話になりました

第7回定例理事会

令和3年8月31日開催

- 1 ■報告事項
 組合員の脱退について
 5名の脱退を報告した。
 余裕金の運用状況について
 7月末時点の余裕金運用状況を報告した。
 固定資産の取得について
 1件の取得内容を報告した。
- 2 ■議事
 燃料手当の支給基準について
 支給基準について承認された。
 運送委託契約の締結について
 利益相反に該当となる委託契約の締結について承認された。
- 3 ■理事に対する資金の融資について
 1名の理事に対する融資について、該当理事退席のもと審議され、承認された。
- 4 ■資金の融資について
 3件の融資について審議の結果、承認された。
- 5 ■当組合所有森林に関する意向調査回答について
 森林経営管理法に基づき意向確認について回答内容が承認された。

JAへ100%就職

(令和2年度実績)

令和4年度第2回学生募集

- 定員 60名 ●男女共学 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満(令和3年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:12月11日・12日 ●願書受付:10月1日～11月19日消印有効
- 学校見学もできます

JAグループ職員養成校



一般財団法人

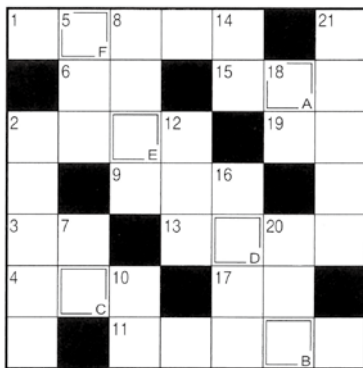
北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417 【JAカレッジ】で検索

お問合せ
 資料請求

パズル? 頭の体操



↓ タテのカギ

- 2 押し入れの上に作られた物入れ
- 5 青物——へ野菜を卸しに行った
- 7 祝い事に付きものの魚
- 8 とても小さな滴が降ってきます
- 10 知識やひらめきを駆使して解きます
- 12 感謝の——を込めて花束を贈った
- 14 つらいことが続くことほぼしたくなることも
- 16 船の積み荷を地上に移すこと
- 18 能ある——は爪を隠す
- 20 サツマイモには食物——が豊富に含まれます
- 21 陰暦10月の異称

→ ヨコのカギ

- 1 野山の散歩を楽しむレジャー
- 2 鶏肉の部位の一つ。羽の一部です
- 3 イノシシを家畜化したもの
- 4 沖縄にいる飛べない鳥、ヤンバル——
- 6 南米にある南北に細長い国
- 9 定期に刻まれているもの
- 11 アイボリーとも呼ばれる淡い黄白色
- 13 スマートフォンにはさまざまなデータが——されています
- 15 軽くて硬い金属。元素記号はTi
- 17 ギョーザや中華まんの中身をこう呼ぶことも
- 19 漢字から作られました

先月号の答え



解答 A B C D E
 マスカット





今日の
オススメ

梨とイチジクの
サラダ

材料(4人分)

- 梨(くし切りで1/8にカットし塩水に漬けておく).....1個
- イチジク(半切り).....2個
- サツマイモ(乱切りして蒸しておく).....1本
- マイタケ.....1パック
- 生ハム.....1パック
- ハーブ類.....適宜
- エキストラバージンオリーブ油.....適宜
- レモン汁.....1/2個分
- 岩塩.....適宜

作り方

- (1) オープン(トースターでも可)を熱し、イチジク、サツマイモ、マイタケを焼き上げる。
- (2) 器に梨、焼き上げたイチジク、サツマイモ、マイタケ、生ハムを彩りよく盛り付け、エキストラバージンオリーブ油、レモン汁を回し掛け、岩塩を振りハーブ類を散らして出来上がり。

進めよう! 国消国産

進めよう!! 国消国産

国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産



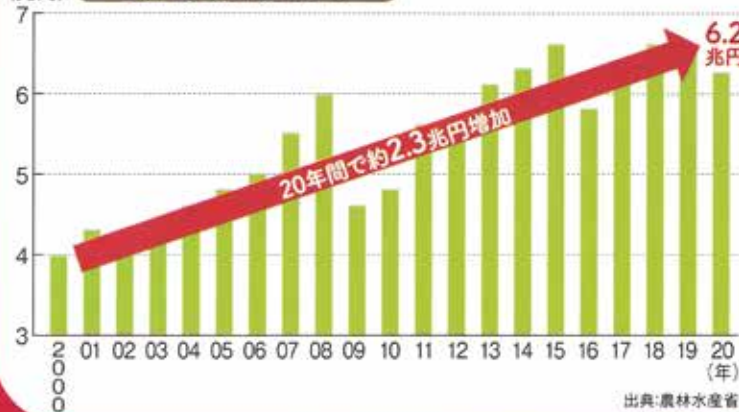
【今回のテーマ】

日本の食料供給は
大丈夫?

食のグローバル化が加速する中、有事の際
にも食料の安定供給が求められています。



(兆円) 農産物輸入額の推移



わが国の食料自給率(カロリーベース)は38%と低迷していますが、農産物輸入額は2000年からの約20年間で約2.3兆円も増加し、6.2兆円となりました。

また、コロナ禍で実際に、約20か国が食料の輸出規制に踏み切りました。食料輸出国もいざというときには、自国内の供給を優先する傾向が分かりました。

食のグローバル化が進む中だからこそ、「国消国産」を進めていくことに大きな意味があります。

耕そう、大地と地域のみらい。